

環境政策セミナー

持続可能な北海道・日本・世界へ

～再生可能エネルギーとグリーンエコノミー～

10月19日 (金)

13:30～17:00

北海道大学学術交流会館 講堂

定員：250名 (無料)

<プログラム>

13:00 開場

13:30 開会

固定価格買取制度の完全施行と北海道における再生可能エネルギーの動き

北海道大学大学院経済学研究科 吉田文和 教授

再生可能エネルギーのファイナンスと地域展開の可能性

日本政策投資銀行環境・CSR部 竹ヶ原啓介 部長

北海道における市民風車の取組

NPO法人北海道グリーンファンド 鈴木亨 理事長

リオ+20の成果と日本が目指す方向性について

環境省地球環境局国際連携課 塚本直也 課長

パネルディスカッション・会場との質疑応答

コーディネーター：北海道大学大学院地球環境科学研究院 荒井眞一 特任教授

17:00 閉会

※講演者やプログラム等は都合により変更の可能性があります。

- 申込み・問合せ：環境省北海道地方環境事務所 環境対策課
- 申込方法：Web・電話・FAX・メールのいずれかにてお申し込みください
- 申込締切日：10月17日 (水) ※満員の場合は、御参加いただけないことがありますので、あらかじめご了承ください。

WEB申込：<https://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw/application/index.php>

TEL:011-299-1952 FAX:011-736-1234 MAIL:reo-hokkaido@env.go.jp

再生可能エネルギーの固定価格買取制度とは？

第177回通常国会において、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が2011年8月26日に成立しました。

この法律は、再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付けるもので、2012年7月1日からスタートしています。



国連持続可能な開発会議(リオ+20)とは？



2012年6月20日(水曜日)～22日(金曜日)までの3日間、リオデジャネイロ(ブラジル)において、「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」が開催されました。

リオ+20は、ブラジル政府が、1992年の「国連環境開発会議(地球サミット)」から20周年を迎える機会に、同会議のフォローアップ会合を行うことを提案したことを受け、2009年の第64回国連総会で開催が決定されたものです。

会場アクセス



—公共交通利用案内—

JR「札幌駅」下車、徒歩10分

市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩15分

市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分